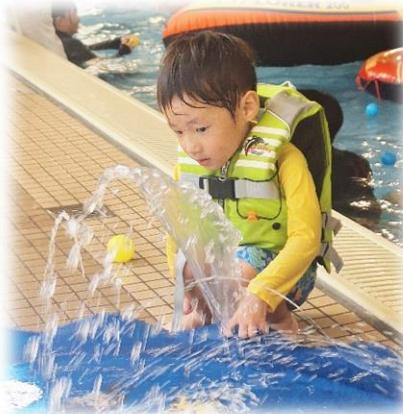


令和7（2025）年度 郡山市市民活動推進顕彰事業

「まちづくりハーモニー賞」 受賞者紹介



まちづくりハーモニー賞



協働のまちづくりを推進するため、以下の市民活動を行っている方を表彰する制度です。

- ・地域の特性を生かした創造性豊かな地域づくりや波及効果が期待できる活動
- ・魅力と活力あるまちづくりに先導的・先進的な役割を果たしている活動

受賞された皆さんの活動は、SDGs「持続可能な開発目標」のゴール達成にも寄与しています。

部門

★ 市民活動実践部門

地域の課題を解決し、暮らしやすい地域にする活動や、
郷土愛を育み地域を盛り上げる活動など、「継続的な」各種市民活動

★ 市民活動応援部門

市民活動をするための環境を整える活動や、市民活動に人的・物的・金銭的支援などをする活動

★ 青少年・学校部門

児童、生徒、学生、その他18歳未満の青少年が取り組む活動で、
活動内容は市民活動実践部門に同じ

★ イベント部門

多くの市民が来場し、まちの活力や魅力の創出に貢献する
イベントを開催する活動

受賞者の活動は市ウェブサイトで情報発信しています



みんなで手話体験をする様子
【つながりつくり隊】



寄付物品の引き渡しをする様子
【郡山ザベリオ学園小・中学校愛のプレゼント運動実行委員会】

市民活動実践部門 (五十音順)

あしかの水遊び

4月から11月まで毎月1回、障がいを持つ子どもたちが安心して水遊びを楽しめる場を提供しています。専門知識を持つボランティアの協力のもと、安全に配慮した環境でプール活動を行い、子どもたちの心身の機能向上を図るほか、障がい児の保護者同士の交流の場にもなっています。

さらに、障がい児支援に関心がある学生にとっては実地体験の場となり、人材育成の役割も果たしています。この活動を通じて、地域の障がい児育成支援に大きく貢献しています。

【審査委員コメント】障がい児の心身の育成に大変良い事業だと思います。学生も関わることで、障がい児支援教育の発展にもつながっていると考えます。



遊具を使って楽しく水遊び!

岡本 宏二

HP



障がいのあるお子さんたちが、体育館、湖、牧場といった様々な場所で楽しく遊び、健やかに成長できる場を提供しています。

医療や福祉の専門家が関わっており、最適な遊具が用意されているため、安心して利用できます。

家族全員で一緒に遊びながら成長できるほか、保護者にとって、専門家から直接、医療的なアドバイスを受けられる貴重な場にもなっており、障がい児の育成支援として先進的な活動です。

【審査委員コメント】長い間障がい児支援を続けてきたことに敬意を表します。専門性を生かして地域の子どもたちの体験格差の解消のために尽力していただきたいです。



体育館を利用した遊びの場

郡山障がい児サポート macaron

HP



障がい児をもつ家庭が必要な情報を手軽に得られるよう、情報発信活動を行っています。また、専門家を招いた勉強会や遊びの場、家族同士が交流できる茶話会を開催し、障がい児の育成を支援しています。

複数の企業の障がい児支援に関する情報を一か所でまとめて確認できるツールを運営しており、これにより各家庭の情報収集の負担を軽くしています。勉強会では、正確で役立つ知識を得られるだけでなく、家族同士がつながる場ともなっており、ネットワークづくりにも役立っています。

【審査委員コメント】市民への理解醸成や活動の認知度向上には情報発信が欠かせません。WEBサイトの毎週更新など、精力的な活動ですばらしいと思いました。



保護者のつながりの場である茶話会

大日本茶道学会郡山支部

Insta gram



Face book



「郡山こども茶道教室」の開催や小学校での茶道クラブを通じて、子どもたちが茶道に親しみ、礼儀作法と日本の伝統文化を学ぶ機会を提供しています。

「郡山こども茶道教室」では、年間18回の稽古と2回の発表会という合計20回の活動を通して、茶道の一連の作法を実践的に学び、身につけていきます。

また、子どもたちが熱心に茶道を学ぶ様子はSNSで積極的に発信しており、国内外から反応があります。伝統文化を社会に伝えることにも大きく貢献しています。

【審査委員コメント】長年にわたり、日本文化の体験の機会を市民に提供し続けてきた功績は素晴らしいと思います。



発表会に向けて稽古をする様子

つながりつくり隊

Insta gram



高齢化が進む郡山市で、地域の人たちがいくつになっても自分らしく安心して暮らせるまちづくりを目標に活動を行っています。

「えんがわ」は、年齢や性別にかかわらず、誰もが気軽に参加できることを目指し、健康チェックや体操、手話体験や語らいの場を複数の医療・福祉・介護の団体とともに連携して開催しています。

「なのはなカフェ」では、高齢者、地域住民、認知症の方やそのご家族などがカフェやレクリエーションを通して交流する場づくりをしています。

【審査委員コメント】医療の相談ができる居場所づくりにより、高齢者が寄り添える場となっています。「えんがわ」の出張サービスで、さまざまな地域に利益があると思います。



「なのはなカフェ」みんなで体操

名倉町内会

高齢者や障がい者宅、バス停及び通学路の雪かきと融雪剤散布を行う「雪かき応援隊」を結成し、暮らしやすい地域づくりをしています。また、地域住民の交流の場として、毎月「名倉エンジョイーランド」を開催しています。ここでは、地域の事業所が提供する体操教室や茶話会、ニュースポーツなどを通して、住民同士が楽しく交流できる機会を提供しています。さらに、働き盛りの世代を中心に組織した火防団の協力のもと、運動会や夏祭りなどのイベントも開催し、地域を盛り上げる様々な活動を展開しています。

【審査委員コメント】高齢者の孤立防止や地域参画を促し、共助の意識を醸成する取り組みだと感じました。



地域の運動会での玉入れの様子

緑ヶ丘地区献血協力会

HP



深刻な血液不足の問題を受けて、地域のつながりを活かした献血活動を行っています。地域で献血への協力を呼びかけ、毎年1回の献血を実施しており、毎回約80人が参加しています。

コロナウイルスの影響で献血者が減少する中でも、日本赤十字社の指導のもと感染症対策を徹底して行い、献血活動を途切れさせることなく継続してきました。

また、毎年協力してくれる方も多く、地域の連帯感が強まっています。

【審査委員コメント】地域のつながりを活かした献血協力は、町内会の結束を強め、献血を必要とする人の役にも立ち、多様な地域課題解決につながると感じました。



緑ヶ丘地区献血協力会のみなさん

みなみなミライ

HP



Insta
gram



地域や世代を問わず交流し、学び合う場を提供することで、誰もが生きやすい地域をつくるために活動しています。

スキルアップにつながる講座、茶話会による子育て支援・障がい児保護者支援、ご当地ヒーローと防災を組み合わせたワークショップなど、ユニークな切り口のイベント企画運営を通じて、地域や世代の垣根を超えて交流し、学び合える場づくりをしています。



ご当地ヒーローと楽しいワークショップ!

【審査委員コメント】ユニークな切り口の取り組みが印象的でした。こおりやま広域圏をつなぐ取り組みの一層の推進に期待したいです。

青少年・学校部門

郡山ザベリオ学園小・中学校愛のプレゼント運動実行委員会

小学校
HP



中学校
HP



食品や衣類などの寄付を集めて、貧困で困っている人たちを支援する、フードドライブ活動を行っています。2018年から約8年間続けているこの活動では、最初は月に寄付が10点未満でしたが、現在では100点を超える月もあり、支援の輪が広がっています。

寄付の呼びかけや広報、協力団体との調整などの活動は、児童・生徒が中心となって行っています。これにより、他の人のために役立とうとする気持ちを育てる教育の役割も果たしています。

【審査委員コメント】生徒主体で代々にわたり引き継がれてきた活動の背景には、「心の教育」の継続性があり、文化としてこれからも大切にしていってほしいです。



物品の寄付を呼びかけています

【審査委員】郡山市市民協働のまちづくり推進協議会 市民活動推進顕彰事業専門部会

部会長 三部 香奈 一般社団法人グロウイングクラウド代表理事

大岡 桂子 特定非営利活動法人こおりやま子ども若者ネットワーク理事、チャイルドラインこおりやま

武田 汐理 福島民報社郡山本社

津村 謙 福島民友新聞社郡山総支社

和田 祐樹 特定非営利活動法人ホールアース研究所福島事務所代表